

# さくらの風

平成28年12月1日 No.8 発行

## 神戸市立歌敷山中学校

□下記の URL で学校の情報を発信しています。  
http://www2.kobe-c.ed.jp/uts-ms/

## 12月行事予定



日	曜	行	事	SC	湯	茶	弁当
1	木	全校協議会		○	○	○	
2	金	立候補者説明会			○	○	
3	土	グラウンドゴルフ大会	神戸市ダンス発表会				
4	日						
5	月	小6生授業見学・部活動体験	選挙運動開始	○	○		
6	火			○	○		
7	水	選挙運動終了		○	○		
8	木	立会演説会・投票	P T A 運営委員会	○	○	○	
9	金				○	○	
10	土						
11	日						
12	月			○	○		
13	火			○	○		
14	水	6 P : 全校読書会			○	○	
15	木	個別保護者会①		○	×	×	
16	金	個別保護者会②	週引1→2		×	×	
17	土						
18	日						
19	月	個別保護者会③		×	×		
20	火	個別保護者会④		×	×		
21	水	授業最終(午前中)	新旧生徒会引き継ぎ会	×	×		
22	木	終業式(生徒会退任式)		×	×		
23	金	天皇誕生日					
24	土						
25	日						
26	月	冬季休業(～1/9)					
27	火						
28	水	仕事納め					
29	木						
30	金						
31	土	大晦日					

### 1月のおもな行事予定



1日(日) 元日  
9日(月) 成人の日  
10日(火) 始業式 全学年実力考査  
11日(水) 委員任命・新生徒会任命  
授業午前中 委員指導 週番編成  
13日(金) 2年カルタ会  
16日(月) 避難訓練  
18日(水)～20日(金) 3年個別保護者会  
20日(金) 1年カルタ会  
24日(火) 1年わくわくオーケストラ  
27日(金) 入学説明会

## 日本の色

橋本 孝

色の名は、その国の言葉が基となり、およそ誰にでも言葉が理解され、併せて色が想像できるものです。日本の伝統色の名も、日本文字で成り立っているのは当たり前のことですが、なかには何であるか人も想像できないといった色の名もあります。

でも、日本人は四季の移り変わりを敏感に感じ、色の名も季節の草花や自然の風物などからとったものがたくさんあります。例えば、赤では茜(あかね)色・撫子(なでしこ)色、緑では若竹(わかたけ)色・萌黄(もえぎ)色・鶯(うぐいす)色、黄では、木蕨(きはだ)色・梔子(くちなし)色、青では、瑠璃(るり)色・浅黄(あさぎ)色・藍(あい)色、茶では、琥珀(こはく)色・鶯(とび)色などがあります。

また、四季の色として、春は桜色・菜の花色・若草色、夏は菖蒲(あやめ)色・燕子花(かきつばた)色、秋は紅葉色・蒲萄(えび)色、冬は枯野(かれの)色・雪白色が使われます。

今あらためて、天然染料による色のあたたかな情感が嗜好されているという話を聞きます。嗜好される背景には、日本人の豊かな色彩感覚や美意識への興味があるのではないのでしょうか。

駆け足で進んでいるような、そして横文字が多くなってきている現在の状況の中で、これから先もこの日本の伝統色が続いていって欲しいと思うのは、私が歳をとってきたからでしょうか。

あっ！そういえば、色名ではないのですが、この垂水には素敵な趣のある地名が沢山あると思います。歌敷山を含め、五色山、霞ヶ丘、千鳥が丘、桜小路、潮見が丘・・・あらためて、日本文字の豊かな表現が素晴らしいと思います。

## 音楽コンクール・文化発表会を終えて

### 「優」情を深めてつかめ“金賞”

3年3組

「金賞をとる」を目標に、僕たち3組は音楽コンクールの練習に励みました。課題曲の「証」では、一通りは歌えるものの、強弱をつけて歌い上げることがとても難しく、気持ちを込めて表現することができるようになるまで、時間がかかりました。自由曲の「手紙～拝啓十五の君へ～」では、音程があやふやで、歌詞も最初の頃は覚えていない人もいました。しかし、今の自分と未来の自分とのやりとりを、表情を豊かに、音の強弱をつけて歌えるように工夫しました。それは、指揮者、伴奏者、歌い手が一つとなって、やっと成し遂げることができるものでした。

練習中には、上手く歌うことができず、クラスがバラバラになってしまうこともありました。そんな時に、実行委員がクラスに投げかけた、「クラスの10月の目標の『優』情を深めてつかめ金賞」という言葉を大切にしよう。ここでクラスがバラ

バラになったらダメ、みんなでがんばろう。」という言葉に胸を打たれ、それからは団結してがんばることができました。

文化発表会では、68回生の代表として舞台上立つこと、中学校生活最後の文化発表会を悔いの残らないようにすることを胸に、3組の合唱に臨みました。クラスで力を合わせて歌えたことは、僕たち3組の自信につながったと思います。これからは、受験に向かって努力を重ねなければいけません、クラスで一丸となり、また68回生で団結して乗り越えていきたいです。

### 「可能性」を信じることの大切さ

第68代生徒会

「そんなことないもんっ。」力強く叩いた机の音と私が発したその台詞が、体育館中に響き渡りました。僅かな静寂の後に、起こるとよめき。その瞬間、私の体中に鳥肌が立ちました。

私が生徒会劇で演じた「妹」は、主人公をひたむきに応援し続ける役でした。初めて台本を読んだとき、その一生懸命さや、家族を信じる真っ直ぐな気持ちに心を打たれました。だからこそ、台詞の言い回しや動きなどを工夫して、私が感じた「妹」を少しでも多く人に伝えよう、そんな思いで練習を重ねました。自分を信じること、仲間を信じること、そして「可能性」を信じることの大切さ。そのことが観て下さった方全員に伝わっていたら嬉しいです。10人全員で支え合い、協力し合っこの劇を創り上げたことは、決して忘れることのできない思い出となるだろうと思います。

感動や熱気に包まれた舞台の部。一人ひとりの思いがこもった展示作品の数々。この文化発表会で見る事ができた素晴らしい可能性は、私たちの支えとなり、これからの未来へ歩みだすための糧となると思います。

## トライやる・ウィークを終えて

### 働くことの意味

2年5組

「なんて、かわいいのだろう！」すぐにこけるし、すぐに泣き出す。すぐに途中で他のことをする。とにかく自由気ままで自分勝手だ。遊ぼうと誘ってくる子、遠くからじっと見てくる子、数字が逆になる子、とにかくみんなかわいい。いろんな子がいる。年長さんのクラスなのに、思っているよりずっと幼く、驚いた。話もあまり通じず、鬼ごっこは歩いているみたい。サッカーなんて空振りばかり。スローインではボールが後ろに飛んでいく。クラスの子だけでも30人近い。先生は1人で見ている。すごい体力だ。私なんて先生のサポートを2人でしたが、1日目の晩御飯の後、急激に疲れて9時半に寝てしまった。夏休みのテニス部の1日練習より、ずっとハードだった。思うようにみんなが動いてくれず、もどかしいことも度々。「粘土をする」という指示に好きな絵を描く子。「やりたくない」と隣の教室のすのこに座り込んでいる子。そんなこんなと驚きばかりだったがだんだん私も慣れてきた。話していることはわからないが、顔と名前はだいたい覚え、楽しそうなことはわかる。遠くから見ている子には私から話しかける。「キャー」と逃げていったりもされたが次第に仲良くなれた。

幼稚園でのトライやるはあっという間の楽しい時間だった。「先生」と呼ばれ、こそばがゆかった1日目から考えると、我ながら積極的に行動するようになったと思う。相手を思いやる気持ちも以前より深くなり、クラス全体を見て気を配れるようになった気もする。自分なりに少し成長した気がした。たっさんの先生方のお世話になりお仕事の一端を知ることができ、嬉しく思っている。先生のお仕事は想像していたよりずっと大変で、感謝することばかりだった。

働くことの意味についてわかってきた気がする。働くというのは『笑顔の種をまく』こと。そして、『笑顔の花を咲かせたお客さんを見て達成感を味わう』ものではないだろうか。

### ●トライやる・ウィーク

2年6組

僕は、和食さと星陵台店ですごく大切なことを学ぶことや感じることができました。まず、1日目には少少掃除をしましたが、1日目の掃除が終わった後に、さっそく井の準備をし、その後は天ぷらを揚げるという重要なことをやり続けました。そして昼にはメニューの中から税込1000円以内のものを選んで自分で最初から最後まで料理をしました。すごくおいしかったです。また、よその中学校の子が来るということは聞いてなかったのですが、作業する中で、すごく仲が良くなりまして。午後は洗浄器というものを使い、よその中学校の子とも作業を分担して、僕は皿などを洗浄器の定位置に選別する作業をしました。すごく熱くて大変だったけれど、良い経験をする事ができました。

2日目には1日目のところでは書いてなかったのですが、まず服を着替えちゃんとした髪の毛が落ちない帽子を着用し、すごく高い石鹸を使い、順序通りに手を洗い、爪もブラシで洗いました。そして、もう1回それをくり返しました。さらにアルコールの消毒液をつけ、つけてからは何も素手では触らず手袋をし、さらに袋をかぶせて作業を行いました。ここから学んだことは、何としても食中毒を出してはいけないということです。手袋も何度も変えました。2日目も準備から始め、僕はから揚げに粉をつけたりレモンやトマトを切って保存したりしました。「手を切らないように」と店長からもやさしく声をかけてもらいました。そして、天ぷらを揚げました。普段入れない冷凍庫などにも入り作業をしました。昼には厚切りロースかつ井を食べました。すごくおいしかったし、楽しい時間を過ごすことができました。最終日には2日目と同じことをしたのですが、失敗もありすごく難しかったです。でも従業員の方々はしっかりと教えて下さいました。昼はパフェを食べさせていただき、すごくおいしかったです。でも終わりのというのが悲しかったです。最後の仕事を終えて、帰ろうと思ったのですが、呼び止められ、「お疲れ様でした！」という言葉をかけてもらいお土産のような物をいただきました。

この3日間を通して感じたことは、従業員の作業のスピードやミス少なさです。また忙しさのピークが訪れても落ち着いて作業を行っていたところなども学べました。そして優しい人たちがいっぱいいて、すごく良い経験ができました。普段でもお店に行きたいなとも思いました。正直1週間すべてここで活動がしたかったです。

## 表彰の記録

平成28年度兵庫県中学校総合文化祭(書写)

特選 3年  
入選 2年  
1年

卓球部

○平成28年度垂水区中学校卓球新人大会  
男子シングルス 第5位 2年  
男子団体 第4位

第68回兵庫県幼・小・中造形教育展

特選 3年  
2年  
入選 3年

1年

第47回「友情をつなぐ絵画作品展」

入選 3年  
2年  
1年